

岐阜駅北口駅前広場

人間主義都市への加速

胎動から躍動へ

Gifu Station North Plaza

 岐阜市

岐阜駅北口駅前広場

未来への飛翔

沿革

岐阜市は、名古屋市の北方約30kmに位置し、人口約42万人を有する岐阜県の県都です。中心市街地の岐阜駅周辺では、平成10年度にJR高架事業が完成し、市街地の南北分断という問題点が解消されました。しかし、岐阜駅北口駅前広場では、交通結節点としての乗り継ぎの不便さやにぎわいの創出、駅周辺を含めた新たなまちづくりが懸案として残されており、その解消のため、岐阜駅北口駅前広場の整備が期待されていました。

そこで、平成14年11月に都市計画決定、平成15年1月に事業認可を受けて事業に着手。そして平成21年9月に、7年の期間を費やし岐阜駅北口駅前広場の整備が完成しました。

岐阜市制120周年を迎えた記念すべき年に、駅前広場が完成し岐阜市は未来への新たな一歩を踏み出しました。

整備方針

交通結節機能の強化

面積26,500㎡と全国一の規模を誇る駅前広場に、バス乗降場、一般車・タクシー乗降場などを機能的に配置、駅と街をつなぐU字型の歩行者用デッキ（杜の架け橋）を整備しています。

「にぎわい空間」の創出

各種イベント等に利用できるにぎわい空間として、信長ゆめ広場、スクエア43を整備しています。

賑

結

安心・安全の駅前広場

ユニバーサルデザインに配慮し、エレベータ、エスカレータ、音声案内誘導システムを取り入れた情報案内板等を設置し、誰もが安心・安全に利用できるようにしています。

安

杜の駅

金華山や県内に自生する樹種を植栽し、緑豊かで環境に配慮し整備しています。駅前広場の植栽は市民協働参加による杜づくりを行い、育てていきます。

杜

変わる岐阜駅前

駅と街がつながり、交通結節機能が強化され、県都の玄関口である岐阜駅北口駅前広場が生まれ変わりました。

多様なコンセプトにより整備された駅前広場は、にぎわいの発信基地として、駅周辺、そして中心市街地へと人の流れをつくりだす一大交流拠点となります。

また、デザインに岐阜らしさを取り入れた各施設は、市の玄関口としてふさわしい都市景観を形成し、市の新たな顔が誕生しました。



整備前の岐阜駅北口駅前広場（平成12年）



整備後の岐阜駅北口駅前広場（平成21年）

環境機能の強化

CO₂を吸収する杜をつくり、低炭素社会の実現にむけて、照明の一部にはLEDを使用、「噴水」や「ながれ」には井戸水を循環させるシステムを採用しています。

環

岐阜駅北口駅前広場のあゆみ

平成8年	2月	JR 高架事業 全線高架化 完成
平成9年	3月	JR 岐阜駅新駅舎 開業
平成11年	3月	JR 高架事業 完成
平成14年	11月	岐阜駅北口駅前広場 都市計画決定
平成15年	1月	岐阜駅北口土地区画整理事業 事業計画決定公告
	8月	駅前広場実施設計
	11月	大岐阜ビル前および 主要地方道岐阜停車場線横断デッキ 工事着手
平成17年	5月	同上 完成
	7月	一般国道157号横断デッキ 完成
	12月	「杜の架け橋」一部区間 開通
平成18年	3月	一般車・タクシー乗降場 完成
平成19年	3月	バス乗降場 完成
	9月	岐阜シティ・タワー43 完成
	10月	「スクエア43」完成
平成20年	3月	大屋根 完成
	10月	「杜の架け橋」全区間 開通
平成21年	2月	団体バス乗降場 完成
	5月	「やすらぎの里」完成
	8月	一般国道157号歩道部 昇降施設 完成
	9月	「信長ゆめ広場」完成 「岐阜駅前広場交流センター」完成
		岐阜駅北口駅前広場 完成（9月26日）
	10月	岐阜市岐阜駅前広場条例 施行
平成22年	7月	「杜のミスト」（霧）完成
平成24年	8月	岐阜スカイウイング37 完成
平成27年	6月	岐阜駅北口土地区画整理事業 換地処分公告
平成28年	3月	同土地区画整理事業 終了
平成31年	1月	岐阜イーストライジング24 完成
		岐阜シティ・タワー43（写真左）、岐阜スカイウイング37（写真右）

歴

岐阜らしさを表現した デザイン

駅前広場の各施設デザインには、金華山や長良川など岐阜の自然、歴史、街、伝統文化をモチーフとして取り入れ、岐阜らしさを表現しています。

岐阜らしさをデザインで表現

駅前広場の施設は、岐阜の自然や歴史、伝統文化をデザインに取り入れ、訪れる人たちや岐阜を担う次世代の人たちに岐阜らしさを感じていただきます。

岐阜蝶をモチーフとした



照明灯

鶺鴒舟をモチーフとしたベンチ



岐阜駅を一步踏み出すと、岐阜和傘をイメージした大屋根が、訪れる人々を温かく迎えます。

赤色の柱、空が透けて見える大きなガラス屋根は、訪れる人の目を引きまします。

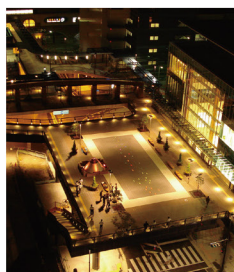
岐阜和傘をモチーフとした 大屋根

Design Concept デザイン・コンセプト

駅前広場の緑の基本コンセプトは「杜の駅」です。その杜の駅の象徴である「やすらぎの里」には、岐阜を代表する桜（淡墨桜、中將姫誓願桜、莊川桜、高桑星桜）が植えられており、春には色とりどりの花を咲かせます。

駅前広場には、もみじ等の落葉樹も植えられており、季節ごとに訪れる人たちの目を楽しませてくれます。また、市民と協働で杜づくりを行っていきます。

岐阜の緑と広場の融合 市民と共に育む杜の駅



夜の広場を包み込む

岐阜の灯



「杜の駅」に夜が訪れると、表情は一変し、新たな顔をのぞかせます。

広場に配置した「岐阜の灯」が、岐阜の街を明るく、やさしく包み込みます。

長良川をイメージした歩行者用デッキ「杜の架け橋」の高欄照明は水の流れを青色で表現し、普段は緑あふれる自然を感じさせるやすらぎの里にはホテルを連想させる足元灯がやさしい光を灯しています。広場の中心となる「信長ゆめ広場」には、音楽と同調した噴水と光の演出により、岐阜の伝統と文化をテーマに曜日毎に表現し、夜の広場を鮮やかに、幻想的に演出します。



人が集う にぎわい広場

駅前広場の中央に位置する「信長ゆめ広場」は、様々なイベント等に利用していただけるよう、三日月形のステージや観客席としても利用できる大階段が整備されており、その他にも照明・音響設備、上下水道等の設備も備えています。

岐阜シティ・タワー 43 東の「スクエア 43」は、完成した平成 19 年より多種多様なイベント空間として利用されています。

かつて織田信長公が岐阜に楽市楽座を設け、にぎわいを創出したように、新生「駅前広場」が岐阜のにぎわいの拠点として街全体を明るい未来へ導きます。

信長ゆめ広場

■ 使用可能面積

1,800 m²

■ 設 備

- ・ステージ
- ・電源 100V, 15A
- ・上水道, 下水道
- ・照明, スピーカー
- ・ベンチ
- ・テント固定用金具



■ 使用可能面積 420 m²

■ 設 備

- ・電源 100V, 15A
- ・照明
- ・ベンチ
- ・テント固定用金具



スクエア43



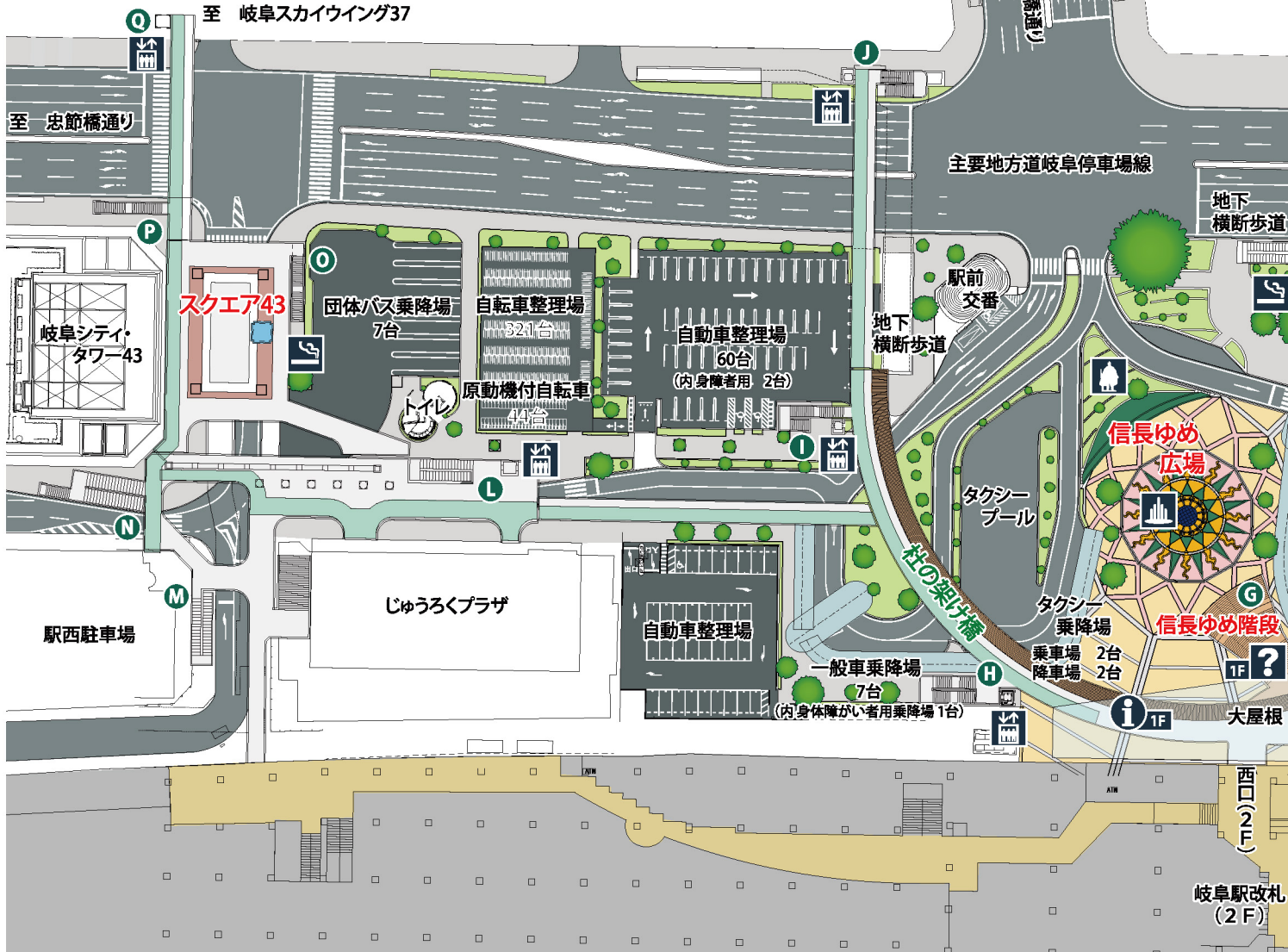
新しい駅前広場の象徴

「黄金の織田信長公像」

市制 120 周年の記念すべき年に、市民の寄附により建立された黄金色に輝く「織田信長公」の銅像は、台座までの高さが約 8m、像の高さが 3m で、金箔 3 層張りです。完成した信長公像は、広場の中心となる「信長ゆめ広場」にあり、駅前広場の新たなシンボルとして岐阜を訪れる人を迎えてくれます。

また銅像を建立するにあたり、背景となる清涼飲料水の看板が付け替えられるなど、官民一体となって駅前の景観形成に取り組んでいます。

岐阜駅北口駅前広場 施設案内図



整備内容

- ・駅前広場面積 約 26,500 m² (旧駅前広場面積 約 17,600 m²)
- ・総事業費 約 116 億円
 - デッキ整備費 約 50 億円
 - 広場整備費 約 26 億円
 - 用地補償費 約 32 億円
 - その他 約 8 億円

・事業主体 岐阜市

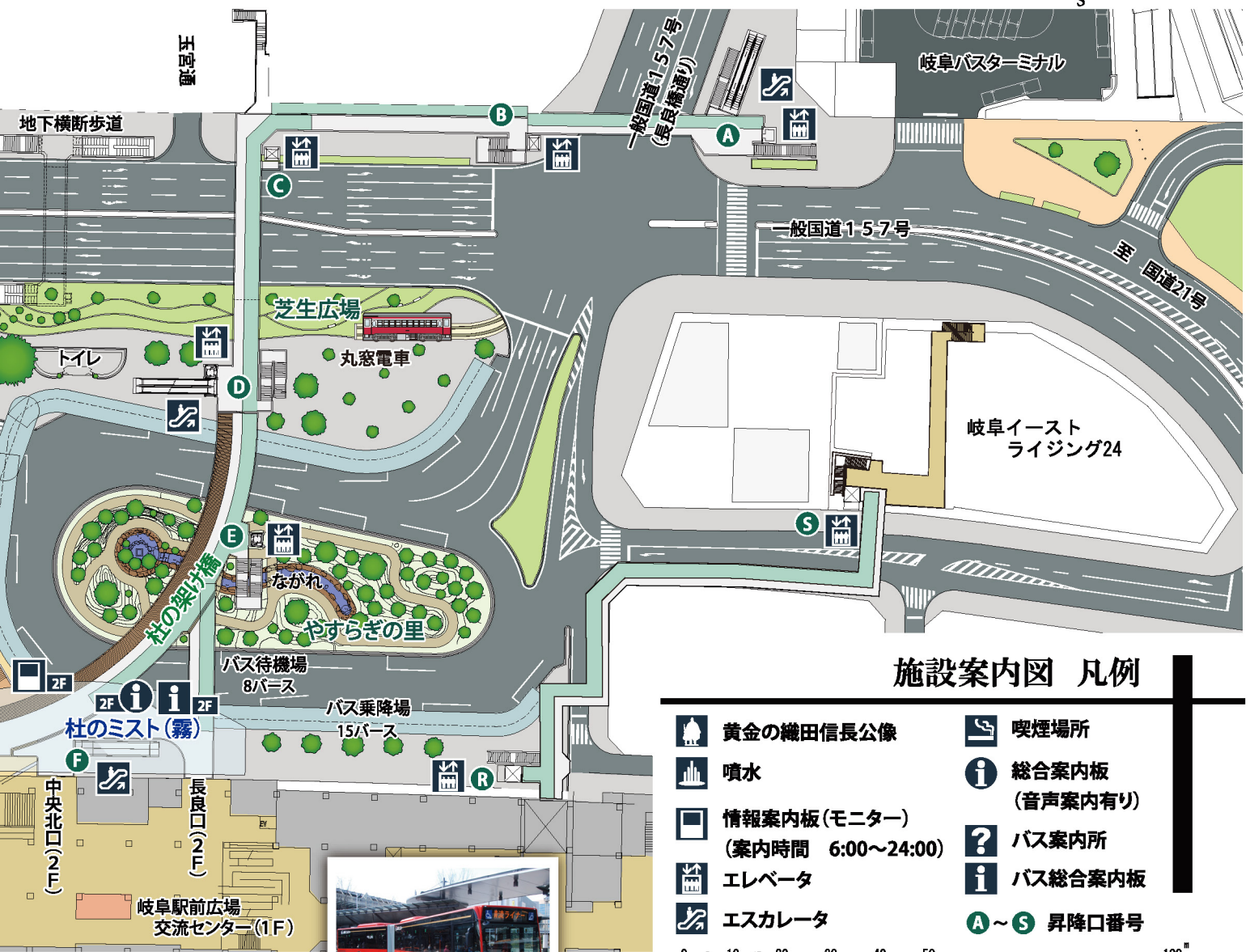
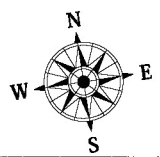
・主要施設

- 立体横断施設 歩行者用デッキ (L=776m, A=7,740 m²)
- 昇降施設 エレベータ (12基), エスカレータ (3基), 階段 (12箇所)
- 乗降施設 バス乗降場, 団体バス乗降場, 一般車・タクシー乗降場
- 駐車施設 自動車整理場, 自転車整理場
- 修景施設 やすらぎの里 (2,240 m²), 芝生広場 (1,000 m²)
- オープンスペース 信長ゆめ広場 (1,800 m²), スクエア 43 (420 m²)
- 便益施設 トイレ (2棟), 歩行者案内板, 車両案内板
- 緑化施設 高木 (193本), 低木 (6,923本), 生垣 (313m)



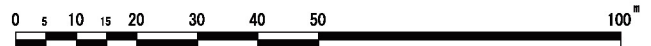
至 柳ヶ瀬
岐阜市文化センター
方面

至 柳ヶ瀬
名鉄岐阜駅 方面



施設案内図 凡例

- 黄金の織田信長公像
- 喫煙場所
- 噴水
- 総合案内板
(音声案内有り)
- 情報案内板(モニター)
(案内時間 6:00~24:00)
- バス案内所
- エレベーター
- バス総合案内板
- エスカレーター
- A~S 昇降口番号



変わる駅前 変わる都市

そして未来へ

駅周辺では、市街地再開発事業が連鎖的に展開され、
 平成 16年 リブラ 21
 平成 17年 大岐阜ビル
 平成 19年 岐阜シティ・タワー 43
 平成 24年 岐阜スカイウイング 37
 平成 31年 岐阜イーストライジング 24
 が建設されました。

岐阜市は今後も、岐阜駅北口駅前広場を中心に、明るくにぎわう未来へと羽ばたきます。





杜のミスト（霧）

杜のミスト ～霧～ Mist

杜のミスト（霧）は、低炭素社会づくりに向けた取り組みの一つであり、水と太陽光を利用した環境にやさしい省エネ自然冷房です。水が蒸発する時、周りから熱をうばう性質（気化熱）を利用しており、触れても濡れた感じがしない微細な水を太陽光発電の電気を使って噴霧するものです。ミスト下で約2～3℃の温度低下が期待され、高温化する夏の屋外に「涼感」を提供し、潤いのある空間を創出しています。



平成7年撮影



令和3年3月撮影

 岐阜市 都市建設部 鉄道高架推進課

岐阜市司町40番地1
Tel 058-214-4684 Fax 058-262-0512
<http://www.city.gifu.lg.jp/>

 岐阜駅前広場交流センター

岐阜市橋本町1丁目（JR岐阜駅1階）
Tel 058-265-3828 Fax 058-265-3829